



大
義
書

港規則條例草案

1723



414
A2703

港規則條例



日本

政府ハ諸開港地ニ於テ内外船舶ノ出入及

ヒ碇泊ヲ便利ニシ港内ノ安全ヲ保テ諸事ヲ整

頓セニカ為、從來ノ慣習ニ仍リ将来ノ便益ヲ

算シ港灣規則ノ條例ヲ設立スルコト左ノ如シ

但シ諸條款ハ各港ノ景況及ヒ便利ニ依テ之

ヲ増減變換スルコト有ルヘシト雖氏概子此

例條ニ照準スルヲ以テ規トス

第一條

今此ニ某港ノ境界ヲ畫シ諸船舶ノ此ノ境内ニ

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

入ルモノヲシテ各々下条ニ記スル所ノ規則ヲ遵守セシム

譬ハ横濱港界限ノ如キハ

八王子岬ヨリ東北ノ東寄ニ向ヒ燈明船ニ至ルマテ直線ヲ引キ又其燈明船ヨリ鶴見川口ニ至ルマテ直線ヲ引テ之ヲ港ノ境界ニ為ス船舶ノ港ニ向ヒ来ルモノ甲板上ヨリ西南或ハ西南ノ南寄ニ本牧十二天ノ鼻ヲ望ム時ハ其船舶既ニ港内ニ入シ者ト為スノ類

第二條

諸船ノ船長各船ノ船長ト稱スル者ヲ包ムハ港口ニ進入スルノ前其船ノ旗章ヲ揚ケ且ツ檣上ニ号旗ヲ掲ケ置キ入船ヲ港長局ニ報知スルノ手續ヲ終ヘ然ル後其号旗ヲ却スヘシ

第三條

船長ハ港内ニ入船スルノ後二十四時以内ニ其到着ヲ港長局ニ報スヘシ領事其港ニ在留セサルノ外國船ハ退帆迄船目録并ニ船客ノ姓名簿等ヲ同局ニ預ケ事宜ニ因リ積荷目録ノ正寫ヲ

モ預クヘシ領事^ニ在留ノ外國船ハ右等ノ書類ヲ
其領事館ニ預クヘシ此等ノ手續ヲ急リ或ハ此
等ノ箇條ニ背ク者ハ日本政^府ハ**百圓**ヨリ多カラ
サル過料ヲ徴收スヘシ都^府ニ徴收スル者ハ日本政^府ノ徴收ニ係

第四條

港内ニ進入スル諸船ノ船長ハ港長若クハ港長
ノ命ヲ受テ其船中ニ乗込ミタル官吏ノ指揮ニ
從テ其碇泊場ヲ占ムヘシ港長ノ命ヲ得ズシテ
猥々其碇泊場ヲ占ムヘカラズ若シ此等ノ手續
ヲ急リ或ハ之ヲ犯ス者ハ**百圓**ヨリ多カラサル

過料ヲ徴收スヘシ若シ己ムヲ得サル事情アリ
テ其碇泊場ヲ移サント要スル者ハ港長局ニ請
ヒ港長ノ許可ヲ得テ轉移スヘシ又同一ノ可
ヲ得及ヒ轉移スルキノ指令ヲ受テ其轉移ヲ急ル
者ハ一時毎ニ**五圓**ノ過料ヲ徴收スヘシ
但シ沿海往復ノ蒸氣船或ハ郵便船等兼テ碇
泊場ノ定リタルモノハ其位地ヲ變スル時ニ
非レハ港長ノ指揮ヲ受ル^トヲ要セス
第五條
港内碇泊船ノ安全ヲ保ク或ハ危害ヲ避シカ為

大 港 審
又ハ貨物ヲ諸船ヨリ卸シ又ハ貨物ヲ諸船ニ
積ム都合ノ為ニ港内便宜ノ場所ヲ勘考シ時ト
シテ諸船ノ碇泊場ヲ變換セシムルヲ等ハ港長
ノ権内ニアル人シ

第六條

港長ハ港内ニ於テ常ニ内外軍艦ノ碇泊場ヲ分
畫シ置クヘシ商船其他何等ノ船タリ共港長ヨ
リ拾別ノ免許ヲ得ルニ非レハ其畫線内ニ碇泊
スヘカラス

第七條

各船ノ船長ハ平時ノ下錨ニ於ル或ハ颶風其他
不慮ノ危險ヲ避ケカ為ニ別段ノ投錨ヲ為スニ
於ル豫メ其錨索ヲシテ他船ノ錨索ニ濁レシメ
ス其他一切他船ノ障礙ヲ為サ、ル様注意スヘ
シ

第八條

兩船ヲ繫キ供スルコトハ其必要ノ時間ニ限ル
ヘシ而シテ各船其舳尾ニ他船ヲ牽クモノハ其索
ヲ短クスヘシ

第九條

船長船ヲ埔頭ニ繫カント要スル時ハ港長局官吏ノ指示セシ場所ヲ占ムヘシ埔頭ニ繫キタル他船ノ後ニ繫クヲ得ズ若シ之ニ背ク者ハ(五)ヨリ多クササル過料ヲ徴收スヘシ

第十條

風雨若クハ其他不慮ノ災難ニテ錨索ノ繫ラ失シ或ハ岸ニ曳キ着ケラレ或ハ沈没セリトスル船舶アレハ他船ハ可成丈ケカラ尽シテ之ヲ扶助スルコト其義務タルヘシ

第十一條

港長局ノ許可又ハ指令ヲ受ケ諸船舶ヲ埔頭ニ着ケ或ハ埔頭ヲ離レ或ハ甲ノ場所ヨリ乙ノ場所ニ轉スル等ノ運轉ハ十月ヨリ三月ニ至ルマツハ午前七時ヨリ午後七時迄四月ヨリ九月ニ至ル迄ハ午前七時ヨリ午後七時迄ノ間ニ限ルハ但小船等ハ此限ニアラス

第十二條

小船其他ノ機械等ヲ海岸ノ石垣ニ挂ケンコトヲ要スル者ハ港長局ニ請求シ港長之ヲ適當トセハ其免許ヲ與フヘシ若シ之ニ背クモノハ(五)

四ノ過料ヲ徴收スヘシ

第十三條

貨物若クハ船客若クハ其他ノ人ヲ埠頭外ヨリ上下スル^レヲ禁ス若シ之ヲ犯スモノアレハ貨物ハ税関規則ニ據テ處置シ船客其他ノ人ハ五ノ過料ヲ徴收スヘシ但税関先ニ港長局ノ特許ヲ得ル者ハ此例ニ非ス

第十四條

入船先ニ退帆ノ諸船舶ハ皆相当ノ手順ヲ以テ水先案内ノ者ヲ傭フコト当然ナルヘシ

水先案内ノ者ヲ傭フコト

内規則ニ
詳ナリ

第十五條

各船ハ港内ノ淺深ヲ示シタル浮標或ハ軍艦ノ爲ニ示シタル浮標其他燈船礁標錨標等ニ觸レ或ハ鎖索曲釘等ヲ挂ケ或ハ之ヲ從移スヘカラズ若シ之、背キ右等ノ物件ヲ從移シ又ハ損害スルモノハ其時ノ景況ニ依リ貳百圓ヨリ多カラサル過料ヲ徴收スヘシ

第十六條

碇泊場ノ定リタル沿海往復ノ蒸氣船及ヒ郵便

船等ハ港内出入ノ為メ常ニ浮標ヲ以テ線路ヲ示シ置クヘシ右線路ノ内ニハ何等ノ船モ其碇ヲ卸スヘカラス若シ之ヲ犯シ其妨礙ヲナス時ハ**五拾圓**ノ過料ヲ船長ヨリ徴收スヘシ港長ノ免許ヲ受ケ港内ニ營業スル小船之ヲ犯セハ右過料ノ外港長ノ考定ヲ以テ其船ノ免許狀ヲ取ルコトアルヘシ

第十七條

日本形ノ船舶ハ各港之カ為ニ指定シタル界内ニ碇泊シ従前公布シタル規則ヲ固守シ俄ニ西

洋形船舶碇泊場ノ為ニ設定シタル界内ニ入ルコトヲ許サス

第十八條

船長ハ速ニ帆桁ヲ引上ケ甲板上ノ屋宇ヲ取拂ヒ或ハ碇泊場ヲ他所ニ徙移スル等總テ港長ノ許可ヲ受ケ其他港長ヨリ適宜ナリトシテ下シタル指令ハ悉ク之ヲ遵守スヘシ若シ之ニ違背シ或ハ之ヲ怠忽スル者ハ**百圓**ヨリ多カラサル過料ヲ徴收スヘシ

第十九條

港内ニ於テ船中ヨリ屍骸ヲ水中ニ投スルヲ
禁ス若シ之ヲ犯スコトアレハ**貳百圓**ノ過料ヲ
其船長ヨリ徴收スヘシ

第二十条

諸船港長局ノ免状ヲ得サルハ**壓艙**ヲ卸シ或ハ
之ヲ積ムコトヲ許サス之ヲ取リ之ヲ棄ルト皆
同局ヨリ差図スル場所ニ於テスヘシ而シテ右
壓艙ノ水中ニ墜ンコトヲ防カンカ為ニ相当ノ
手術ヲ為スヘシ磚等ヲ積卸スルモ亦同様ニ注
意スヘシ若シ根々壓艙及ヒ磚等ヲ水中ニ棄ル

時ハ**百圓**ヨリ多カラサル過料ヲ其船長ヨリ徴
收ス其他稿沙塵芥等モ一切船外ニ投スルヲ
許サス之ヲ犯ス時ハ過料ヲ徴收スル亦上ト同
カルヘシ

第二十一条

船長其船ヲ修理シ或ハ船底ヲ燻セント要セハ
必ス港長局ヨリ指定セラレタル場ニ於テスヘ
シ根々之ヲ他所執行スヘカラス

第二十二条

船内ニ於テ松脂或ハ瀝青等ヲ溶解スヘカラス

右等ハ港長局ニ報シ相当ノ沙濱ニ於テ嚴ニ豫防ヲ加ヘ而ル后之ヲ執行スヘシ

第二十三條

各國軍艦商船又ハ諸船舶痘瘡其他ノ傳染病客ヲ載セ進口スルモノハ港口ニ至ラサル前黄色ノ号旗ヲ前掲ニ掲ケ其船艦ヲ留メ港長ノ指令ニ受ケ防恙方ノ規則ニ従フヘシ右等ノ手續ヲ急リ或ハ之ニ背ク時ハ**貳百五拾圓**ノ過料ヲ其船長ヨリ徴收ス防恙方ノ一項目ハ專ラ文部省ノ章程ニ係ル故ニ畧シテ不悉

但シ港内碇泊ノ船艦中若シ本文ノ病ニ罹ルモノアル時ハ直ニ黄色ノ号旗ヲ揚ケ且同時ニ之ヲ港長局ニ報シ防恙方ノ規則ニ従フヘシ若シ之ニ背クモノハ本文同様ノ過料ヲ徴收ス

第二十四條

前條ノ船艦ハ港長ノ指令ニ従ヒ碇泊場ヲ定メ或ハ之ヲ他所ニ移シ防恙方ノ規則ニ遵守スヘシ

第二十五條

火藥及ヒ破烈物其他危難ヲ生スヘキ物品ヲ多
 量積ニ載セタル船舶ハ何等ノ事情アリモ港内
 ニ進入スルコトヲ許サズ右等ノ船艦ハ港界ノ外
 ニ駐メ或ハ錨ヲ卸シ最高ノ檣上ニ赤色ノ号旗
 ヲ掲ケ速ニ火藥及ヒ破烈物等ノ量数ヲ港長局
 ニ報シ其指令ニ従テ碇泊場ヲ占メ而シテ危險物
 取扱規則ニ従フヘシ薬品或ハ揮發物等各其取
 扱ノ規則アリ
 若右等ノ手續ヲ怠リ或ハ之ニ背クモノハ**貳百**
五拾圓ノ過料ヲ徴収スヘシ
 但本文ノ船舶此規則ヲ遵レレカ為ニ多量ヲ

少量ト偽リ或ハ故意ニ此規則ヲ犯ス者ハ何
 等ノ船舶ヲ論セズ每犯**五百圓**ノ過料ヲ徴収
 スヘシ

第二十六條

前條ノ船舶ハ速ニ港長ノ指令ニ従事スヘシ若
 シ之ヲ怠リ或ハ之ニ背ク者ハ一時間毎ニ**拾圓**
 ノ過料ヲ徴収スヘシ

第二十七條

何等ノ船ノ船長モ十月ヨリ三月迄ハ午後六時
 ヲ以前六時迄四月ヨリ九月迄ハ午後七時ヨ

リ午前五時迄ノ間ニ港長ノ免許ヲ得スシテ火
藥其他ノ破烈物等ヲ船積又ハ陸揚シ又ハ船移
ラ為スヘカラス

仁シ此等ノ事ヲ執行フ時ハ何等ノ船ニテモ
見易キ處ニ赤色ノ号旗ヲ立ヘシ

第二十八條

港長局ハ港内ノ時辰ヲ正サシカ為ニ毎(土曜日)
正午時号砲ヲ發スヘシ

第二十九條

港内碇泊船ハ日没ヨリ日出ニ至ル迄前檣帆桁

ノ右端ニ白色鮮明ノ一燈ヲ甲板上下ヨリ二十尺
ヲ減セサルノ高サニ点シ帆檣ナキ船或ハ蔵船
等ハ船ノ右側ニテ他所ヨリ見易キ所ニ同上ノ
燈ヲ点スヘシ若シ之ニ背クモノアレハ(百四)ノ
過料ヲ船長ヨリ徴收スヘシ

第三十條

日没後ハ甲板上ニ於テ火ヲ点スルヲ許サズ船
室ノ燈火ハ終夜之ヲ燃スモ妨無カルヘシ

第三十一條

港内碇泊ノ諸船夜中失火ノ節ハ最高ノ檣上ニ

三 燈ヲ直行ニ揚ケ且ツ帆折ニ一燈ヲ揚ケ十分
ノ救助ヲ得ル迄ハ急ニ大砲ヲ連發スヘシ又晝
間ノ失火ハ其船ノ旗章ヲ倒マニシテ引クマシ
ヤ津記中キ下百中五号ノ号M 即チ我船艦失火
号旗ヲ揚ケ夜中同様ニ發砲スヘシ

第三十二條

郵船出入港ノ号砲及ヒ失火ノ号砲其他港長ノ
許可ヲ受ケタル發砲ノ外濫出ニ於テ大小砲ハ
勿論其他ノ火器モ商船ニ於テ之ヲ發射スヘカ
ラス若シ之ニ背ク者ハ船長ヨリ(百四)ノ過料ヲ

徴收スヘシ

第三十三條

船中ニテ水夫等鬪爭ヲ生シ船長之ヲ鎮撫シ得
カタク時ハ港中取締ノ為ニ設ケタル巡邏船又
ハ陸地ニ在ル警保局ニ到リ扶助ヲ受ルヲ得ヘ
シ而シテ内國人ハ港長又ハ邏卒總長及ヒ檢事
ノ處置ニ受リ外國人ハ其國領事ノ處置ヲ受リ
ヘシ

但領事不在ノ外國人ハ内國人同一ノ處置ヲ
施行スヘシ

第三十四條

出港セント要スル諸船舶ノ船長ハ出帆ニ先ツ
ツテ二十四時ニ方リ四方青色中央白色ノ号旗
ヲ揚置キ出港スヘキ旨ヲ港長局ニ報スヘシ若
シ此手續ヲ怠リ或ハ之ニ背ク者ハ(五拾圓)ノ過
料ヲ徴收スヘシ

第三十五條

諸船舶出港ノ旨ヲ報スル時ハ港長ハ諸税及ヒ
諸手續ノ皆済ヲ見認メシ後出帆免状ヲ渡スヘ
シ事宜ニ依リ積荷目錄ヲモ改メルコトアルヘ

シ若シ出帆ノ免状ヲ受取リタ後三十六時間
ニ出帆セサル時ハ其趣意ヲ港長局ニ報シ事宜
ニ依リ再ヒ其船ノ書類ヲ港長局ニ預クヘシ

第三十六條

諸船舶ハ日出前ニ日没後ニ出帆スルヲ許
サズ

第三十七條

此規則中第二十二條ヨリ第二十四條ニ至ルノ
條例ハ我カ

天皇陛下ノ軍艦并ニ各國軍艦其他公用ニ産

八、軍裝艦或ハ各國官用ニテ雇ヒタル軍艦
又ハ政府海陸軍用貯蓄ノ船ニ對シテハ一切施
行セサルモトス

第三十八條

内外船艦ヲ論セス此規則ノ手續ヲ為スヲ怠リ
或ハ之ヲ犯シタルヨリシテ港内公ノ物件及
ヒ船艦其他港長ノ許可ヲ得テ付置シタル私有
ノ物牛ノ損傷ヲ加ヘシモノハ此規則ニ明記セ
タル過料及ヒ港長ノ適當ト考定シタル過料ノ
外更ニ相當ノ償金ヲ拂ハシムルニ

第三十九條

此規則ノ手續ヲ為スヲ怠リ又ハ之ヲ犯シタル
時此規則ニ明記シタル過料及ヒ償金又ハ港長
ノ適當ト考定シタル過料ハ港長直ニ之ヲ犯者
ニ告示スヘシ犯者港長ノ考定シタル過料及ヒ
償金ヲ以テ不適當トスル時ハ相當ノ手續ヲ為
シテ^七其地ノ裁判所ニ上控スルコト
ヲ得ヘシ

第四十條

内外國ノ人民此規則ニ違背シ罰金ヲ納ムルニ

命ニ受ケ之ヲ押ヒ得サルモノアレハ各其臣
ニ據リ之ヲ相当ノ實決ニ覆スヘシ

第四十一條

港長ハ規則書一冊ヲ入港船ニ船長ニ渡スヘ
シ但シ船長ハ出帆免狀ヲ乞ヒ受ル時之ヲ返納
スヘシ若シ之ヲ怠ル時ハ(壹圓)ノ過料ヲ徴收ス
ヘシ

